

SSH 生物部、林野庁長官賞受賞！

＜第56回全国野生生物保護活動発表大会 林野庁長官賞＞

10月に行われた「第56回全国野生生物保護活動発表大会」の結果発表・表彰式が11月21日に環境省にて行われ、SSH 研究クラブ生物部のイタチに関する研究「ニホンイタチを守るために～雑種の発見を通して～」が林野庁長官賞を受賞しました！

この大会では全国の小・中・高等学校が、野生生物全般について保護活動に取り組んでいる内容を動画で出品し、有識者等による審査を経てその活動内容が優れていると評価されたものに賞が贈られます。

本校生物部のイタチに関する研究は、3年前から鯖江市、福井市自然史博物館と協働して行っている研究であり、その協働性と、DNA による判別を行うことで今までいないと考えられていたニホンイタチとシベリアイタチの雑種を新たに発見したという点で評価されました。

環境省での発表の際には、環境省副大臣や野生生物保護の専門家に対して福井県におけるニホンイタチの現状を訴えるとともに、メスだけでなくオスも保護対象とする必要性をアピールし、質疑応答に活発に答えていました。

今後は、固有種であるニホンイタチの保護にむけて更なる協働活動を続けていくことと、今回の発見の論文文化に向けて動いていく予定です。



山田環境省副大臣

高崎悠衣さん

吉田悠人さん

橋本教諭

山下林野庁課長補佐